

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、6月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「非接触ICカード技術とその展開」については、以下のようのご感想・ご意見をいただきました。

■宣伝と感ずる部分が多く少々期待はずれでした。もう少し今後の課題を掘り下げてほしいです。(匿名希望)

■交通系非接触ICカードの海外展開・共通化における情報処理分野からの課題について考察があるとよいと思います。(匿名希望)

■約20年前にISO 7816 Part3の制定に携わっていたので、昨今の接触式、および非接触式ICカードの普及に感慨を覚える。特に、当時議論していたマルチアプリケーションのカードが、やっと現実のものになってきて、生活における利便性の向上や財布の中のカード枚数の減少に寄与し始めていることがうれしい。(匿名希望)

■非接触ICカードはPASMOの導入によりさらに身近なものになりつつある。本号では、決済、交通、金融、小売などの分野での動向や課題がまとめられているが、大きな流れとしては機能統合化があるはずである。この点について、将来的な見通しを入れていただければなおよかったと思う。(白井康之)

■以前から興味のある分野だったこともあり、大変勉強になり、楽しく読むことができました。特にこの技術を利用したサービスについて、多くの事例を取り上げて具体的に紹介されていたのは、大変有益であったと思います。(匿名希望)

■最近、一般の生活にも浸透してきた技術に関する特集であり、楽しく拝読させていただいた。究極は1枚のカードですべて対応することだと思うが、その弊害も少なくなさそう。停電などのトラブルによって、混乱が生じないシステムを構築していただけることを願う。(匿名希望)

■非接触ICカードがCPUも記憶領域も含んだコンピュータであるという話は、拙劣ながら驚きと可能性を感じた。おそらく電力が共有できる間で処理完了させる高速な要求処理に技術者は悩んだと思うのだが、そういった話があればぜひ読みたいと思った。(金淵 満)

■非接触ICカードの普及状況を見ると、都心部での普及には目を見張るものがありますが、農村部や山間部ではほとんど普及していないように思います。地域間格差をどうするかが今後の課題であると思います。(水野光朗)

■ICカード技術については、関東に在住する者としてPASMOの

サービス開始が記憶に新しい。その利便性がわずか数カ月で身についてしまった。こうなってしまうと逆に新技術の足かせになりはしないかと恐れている。セキュリティ上の問題、あるいは新たな割引制度でもない限り、これ以上の進展はないような気がする。(匿名希望)

■非接触ICカードの実装上の問題が理解できました。現時点での交通、金融系、流通系の解説もうまくまとめられており参考になりました。(匿名希望)

■応用面の展開もさることながら、特にそのセキュリティ上の脆弱性の解消については大きな関心があります。(中島一郎)

特集「教育用プログラミング言語と授業利用」につきましては、以下のようのご感想・ご意見をいただきました。

■教育用プログラミング言語と授業利用は期待はずれだった。小中学生がロボットを組み立て、プログラミングを楽しめるようなインフラの整った時代とは思えないほど古く、新しい取り組みはほとんどない。一部の限られた研究を述べた、プログラムのコピー&ペーストのようなものではなく、企業の取り組みなども網羅した、授業実践の参考になる記事を望む。(匿名希望)

■「情報教育におけるプログラミング利用の可能性」は、初等中等教育における情報教育の目標を明確に示しており、大変参考になった。(平田富夫)

■情報教育へのプログラミング導入を反対する論拠の1つとして、「国民全員がプログラマーになる必要はないのではないか」というものがあつたが、将来プログラミングを行うかどうかではなく、このような分野もあるんだという発見に繋がることが大切ではないかと感じた。この分野に関心を持ってもらうため、また、優れたシステム設計者/開発者を増やしていくためにも、情報教育におけるプログラミングの導入は必要なのではないか。(吉田慶章)

■興味深く読ませていただきました。今日、パソコンの世帯普及率が十分に高くなることで学習環境は整いつつあり、高等学校や高等専門学校(高専)低学年でのプログラミング教育への敷居は低くなっていると思います。特に大学入試に束縛されない高専の低学年の学生は、具体的にプログラミングを学ぶことを期待していますし、基礎的な事項は難なく修得してゆきます。(匿名希望)

■教育用言語について、プログラム自体が最終的には文字、そしてバイトコードとなる以上、敷居を下げたGUIでラッピングしても、じきに子供たちは前述の障害に直面するのではないかと思った。敷居を下げ裾野を広げるための教育用言語なのか、文字・バイトコードの世界への突入を促進するための教育用言語なのか、存在価値について知りたいと思った。いずれにせよ、情報技術を楽しんで学べる子供たちが増えることは、うれしいことだと感じる。(金淵 満)

■いまだに教育の情報化と情報教育の違いが分からない。情報処理教育でよいのではないか。情報処理教育の基礎についてはすでに確立されたものがあり、そのことを初等、中等教育でもしっかりと教育していく必要がある。理科の1科目としての位置づけはできないものであろうか。そうすれば入試科目として扱われ、履修漏れの代表の座を明け渡すことができるのではないだろうか。情報教育導入は明らかにボタンのかけ違いのように感じる。(匿名希望)

■プログラミング教育については企業でもいえることですが、やはり必要であると思います。ただし、対象が小学生と大学生ではアプローチの仕方が異なると思います。(匿名希望)

■まわりを見回して一応プログラムを組めるはずの新人のレベルが、Unplugged で学習できるほどの基礎があるのかも疑問なことに愕然としました。私はプログラミングなどには、本人の努力や教育では超えられない、凄まじく高い適性という名の山があると思っています。適性の発見と適切な教育に期待しています。(匿名希望)

■プログラミング言語には元々興味を持ち、処理系開発にもかかわってききましたが、残念ながらパソコンの普及とともにプログラミング人口が減少し、今や、あらゆる分野でプログラムを作る人口が枯渇しつつあるように思います。「教育用プログラミング言語と授業利用」はこの種の問題の解決策に繋がる議論かと期待しましたが、残念ながら解決の見通しは暗いように思います。(匿名希望)

■興味深く拝読した。我が国の「情報教育」の問題点を垣間見ることができたと思う。(飯倉道雄)

■「情報教育における音楽の利用、音楽教育における情報教育の利用」に興味深く読んだ。「良い作曲ができた」「良い楽譜」の評価については検討する必要があるとのことだが、そのような創造性にかかわることよりも、梅本氏の報告にあるようなコードやスケールを理解することが容易になったという事例のように、情報教育ならではの成果に絞って進めていけばいいように思う。(匿名希望)

解説「観光情報システムの現状と展望」につきましては、以下のよう
なご感想・ご意見をいただきました。

■とても目新しく、とても興味深く読みました。各国が観光産業に重点を置いているさなか、韓国の先進性に日本も本腰を入れて検討すべきと思いました。確かに、昨年数年ぶりにソウルに出張

しましたが、実にモダンになりました。学会もソウルでの開催がとて
も好評ということを知ることがありますが、観光産業が進んでいる点も重要な要素であるのではないかと思います。(匿名希望)

報告「21世紀の企業像と学生・若手研究者への期待」につきましては、
以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■情報学に限らず、若い世代の研究者に対する期待が過大である
と感じます。年配の熟達した先達から学ぶべきものを軽視する風
潮には強い違和感を感じています。(水野光朗)

■DICOM02006 パネルディスカッションは、三者三様の活躍と
提言が臨場感溢れるように分かり興味深かった。(匿名希望)

■ビジネスモデルは、企業が考えるべきものとして捉えられがち
だが、実は研究をどのように発展させていくかという見通しに、
このビジネスモデルの考察が大変重要であると考えている。研究
者と企業が盛んにコラボレーションすることで、テクノロジーを
さらに展開することができるのでは、と期待している。(伊藤かほる)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のよう
なご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■地域における情報サービスでボトムアップのようなものが少な
く感じます。ローカルコミュニティやNPOの活動など。(匿名希望)

■大学における情報教育とITスキル標準との関係。(匿名希望)

■最近の記事や論文は「最近のソフトは複雑」「規模が拡大」「仕
様が変わる」という表現で始まるものばかりです。しかしこれら
は周知の事実ですから、早く本文に入った方が分かりやすく、質
も高くなると思います。(匿名希望)

【本欄担当 屏雄一郎、野村佳秀／書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載して
いますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい
会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4809.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPSJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2007年				
	論文誌「ディペンダブル情報処理」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-P.html	9月28日(金)		
	論文誌「21世紀の情報環境」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-L.html	9月30日(日)		
	論文誌「ソフトウェア工学の効果と価値」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-J.html	10月18日(木)		
	会誌「情報処理」49巻表紙デザイン募集 http://www.ipsj.or.jp/07editj/topic/design-boshu.html	11月1日(木)		
	論文誌「産学連携論文」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-N.html	11月5日(月)		
	平成19年度フェロー候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/fellow/H19/index.html	11月5日(月)		
	論文誌「安心・安全な社会基盤を実現するコンピュータセキュリティ技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-M.html	11月30日(金)		
	論文誌「情報教育～理論・実践・効果～」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-Q.html	11月30日(金)		
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-R.html	12月28日(金)		
9月18日(火)	シンポジウム「産業界が求める情報システム人材のスキル2007」 http://www.ipsj.or.jp/12kyoiku/S-edIS2007.html		定員になり次第	専修大学神田校舎
9月18日(火)～ 9月19日(水)	平成19年度電気関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月17日(火)		琉球大学工学部 (千原キャンパス)
9月18日(火)～ 9月19日(水)	第30回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ITS30.html	7月20日(金)	当日のみ	東京大学 生産技術研究所
9月19日(水)	情報処理北海道シンポジウム2007 Info-Hokkaido 2007 http://info2007.per.c.fun.ac.jp/info2007/	8月3日(金)		北海道工業大学 (札幌市手稲区)
9月20日(木)～ 9月21日(金)	第132回マルチメディア通信と分散処理・第65回グループウェアとネットワークサービス・第37回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DPS132GN65EIP37.html	7月13日(金)	当日のみ	山口市菜香亭
9月21日(金)	第47回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DSM47.html	7月20日(金)	当日のみ	山梨県立大学 飯田キャンパス
9月21日(金)	第114回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/AL114.html	7月21日(土)	当日のみ	豊橋技術科学大学
9月25日(火)～ 9月26日(水)	第181回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/NL181.html	7月20日(金)	当日のみ	東京大学 本郷キャンパス
9月25日(火)～ 9月26日(水)	第58回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/AVM58.html	7月27日(金)	当日のみ	九州工業大学戸畑キャンパス
9月27日(木)	第76回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CH76.html	6月29日(金)	8月31日(金)	東南技術学院(台湾, 台北)
9月27日(木)～ 9月28日(金)	第42回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MBL42.html	7月22日(日)	当日のみ	東京電機大学お茶の水 アネックス
9月27日(木)～ 9月28日(金)	平成19年度電気関係学会東海支部連合大会 http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo/	7月27日(金)		信州大学 若里キャンパス
9月27日(木)～ 9月28日(金)	第157回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SE157.html	7月27日(金)	当日のみ	キャンパスプラザ京都
9月28日(金)	第63回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DD63.html	7月20日(金)	当日のみ	日立製作所大森ベル ポートA館
9月28日(金)	第125回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/HCI125.html	7月28日(土)	当日のみ	大阪大学コンベンション センター
9月29日(土)	平成19年度電気関係学会四国支部連合大会 http://sjciee.ymw.ne.jp	7月27日(金)		徳島大学工学部 常三島キャンパス
10月5日(金)～ 10月6日(土)	第91回コンピュータと教育・第6回教育学習支援情報システム研究グループ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CE91.html	8月10日(金)	当日のみ	高知工科大学
10月11日(木)～ 10月12日(金)	第72回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MUS72.html	8月6日(月)	当日のみ	ヤマハ(浜松市)
10月11日(木)～ 10月12日(金)	第66回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/PRO66.html	8月13日(月)	当日のみ	名古屋大学
10月18日(木)	北陸支部研究講演会「X線像を用いたコンピュータ診断支援について」 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html		参加無料	金沢大学自然科学系 図書館棟大会議室
10月18日(木)～ 10月20日(土)	組込みシステムシンポジウム(ESS2007) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-ESS2007.html	7月2日(月)		日本科学未来館
10月19日(金)	連続セミナー2007「情報セキュリティ2.0」第4回 その後の個人情報保護 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
10月19日(金)	第68回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SLP68.html	8月20日(月)	当日のみ	早稲田大学理工学部
10月20日(土)	平成19年度電気・情報関連学会中国支部連合大会 http://rentai.huis.hiroshima-u.ac.jp/	8月10日(金)		広島大学 (東広島キャンパス)
10月23日(火)	東海支部主催講演会「医療情報システムと情報セキュリティ」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/		参加無料	愛知工業大学八草キャンパス (愛知県豊田市)
10月24日(水)	高度IT人材育成フォーラム －産官学の連携とその継続に必要なものは？－ http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/kodo-it.html		10月22日(月) 定員になり次第	早稲田大学総合学術情報センター 井深記念大ホール
10月25日(木)～ 10月26日(金)	第131回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SLDM131.html	8月17日(金)	当日のみ	会津東山温泉 くつろぎ宿
10月27日(土)	高校教科「情報」シンポジウム2007－ジョーシン07－ http://sigps.ttuat.ac.jp/joshin07.html		詳細はWebサイトで ご確認ください	早稲田大学 大久保キャンパス

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
10月29日(月)～	第149回知能と複雑系研究発表会	7月27日(金)	当日のみ	沖縄コンベンションセンター
10月31日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ICS149.html			
10月29日(月)～	International Workshop on Security (IWSEC2007)	4月13日(金)		奈良県新公会堂
10月31日(水)	http://www.iwsec.org/			
10月31日(水)～	マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	7月27日(金)		よしのや依緑園(石川県加賀市)
11月2日(金)	http://www.dpsws.org/2007/WS/			
10月31日(水)～	コンピュータセキュリティシンポジウム2007 (CSS2007)	8月27日(月)		奈良県新公会堂
11月2日(金)	http://css2007.naist.jp/			
11月5日(月)～	第102回情報システムと社会環境研究発表会	8月24日(金)	当日のみ	岩手県立大学
11月6日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/IS102.html			アイーナキャンパス
11月8日(木)	第88回情報学基礎研究発表会	9月7日(金)	当日のみ	筑波大学
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/FI88.html			春日キャンパス
11月8日(木)～	グループウェアとネットワークサービスワークショップ2007	8月10日(金)		ホテル磯部ガーデン(群馬県磯部市)
11月9日(金)	http://www.teu.ac.jp/i-lab/gnws2007/			
11月9日(金)～	第12回ゲームプログラミングワークショップ2007	7月30日(月)	定員になり次第	箱根セミナーハウス
11月11日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-GPW2007.html			
11月12日(月)～	第129回グラフィクスとCAD研究発表会	8月31日(金)	当日のみ	和歌山大学
11月13日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CG129.html			地域共同研究センター
11月14日(水)	連続セミナー2007「情報セキュリティ2.0」 第5回 バイオメトリックスの現状と今後		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html			
11月15日(木)	東海支部主催講演会「画像処理による物体追跡」		参加無料	愛知県立大学学術文化交流センター小ホール
	http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/			
11月21日(水)～	第43回モバイルコンピューティングとユビキタス通信	9月21日(金)	当日のみ	京都大学学術情報メディアセンター
11月22日(木)	第31回高度交通システム合同研究発表会			
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MBL43ITS31.html			
11月22日(木)	デジタルドキュメント・シンポジウム2007			日立製作所 大森第二別館
	http://www.ipsj.or.jp/sig/dd/			
11月26日(月)～	分散システム/インターネット運用技術シンポジウム2007		8月31日(金)	学習院大学 学習院創立百周年記念会館
11月27日(火)	http://dsm.ipsj.or.jp/h191126cfp			東京(秋葉原)
11月26日(月)～	2007 International Symposium on Ubiquitous Computing Systems (UCS2007)			
11月29日(木)	http://www.ht.sfc.keio.ac.jp/ucs2007/			
11月27日(火)～	コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys2007)	7月17日(火)		東京ファッションタウン
11月28日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ComSys2007.html			
11月27日(火)～	データベースとWeb情報システムに関するシンポジウム	9月18日(火)		東京大学
11月28日(水)	(DBWeb2007)			生産技術研究所
	http://castor.kyoto-su.ac.jp/dbweb2007/			
12月5日(水)～	APSEC2007 14th Asia-Pacific Software Engineering Conference			名古屋
12月7日(金)	http://apsec2007.fuka.info.waseda.ac.jp/			
12月13日(木)～	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2007」	9月14日(金)	定員になり次第 ※当日参加も可能	京都大学 京大会館
12月14日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-CH2007.html			
12月14日(金)	連続セミナー2007「情報セキュリティ2.0」 第6回 次世代暗号技術への移行に向けた課題と対応		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html			
2008年				
1月8日(火)～	第49回プログラミング・シンポジウム			箱根ホテル小涌園
1月10日(木)	http://www.ipsj.or.jp/prosym/			
1月29日(火)	ソフトウェアジャパン2008			東京ステーションコンファレンス
	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/forumindex.html			
3月10日(月)～	ネットワーク生態学研究グループ 第4回シンポジウム		定員になり次第	京都産業大学
3月11日(火)	http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html			
3月13日(木)～	第70回全国大会			筑波大学
3月15日(土)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/70kai/index.html			
6月11日(水)～	The 4th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2008)			東京(秋葉原)
6月13日(金)	http://www.icmu.org/icmu2008/			
7月28日(月)～	SAINT2008 International Symposium on Applications and the Internet			フィンランド
8月1日(金)	http://www.saintconference.org/			
8月21日(木)～	4th International Conference on Collaboration Technologies			和歌山県
8月22日(金)	(CollabTech2008)			(アバロン紀の国)

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 8月15日 会誌「情報処理」49巻表紙デザイン募集
- 8月15日 「コンピュータ博物館」デザインをリニューアル
歴史的コンピュータに「オペレーティングシステム」のカテゴリを追加しました
- 8月15日 人材募集情報(8月)更新しました
- 8月10日 「高度IT人材育成フォーラム-産官学の連携とその継続に必要なものは?-」を開催します
- 8月6日 FIT2007プログラムを掲載しました(当日参加受付も致します)

[学会からのお知らせ]

- 8月3日 「21世紀の情報環境」特集の論文募集、「情報教育～理論・実践・効果～」特集の論文募集
- 8月1日 平成19年度フェロー候補者推薦募集

人材募集 (有料会告)



申込方法：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金：国公立教育機関、国立研究機関 21,000円（税込）

賛助会員（企業） 31,500円（ 〃 ）

賛助会員以外の企業 52,500円（ 〃 ）

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申込先：情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■早稲田大学理工学術院

募集人員 客員教員（専任扱い） 1名
 専門分野 電気電子情報分野
 担当科目 電気電子情報分野にかかわる学部実験 *週3日（1日7時間）以上本学に出校し、以下の教育活動を行う
 ・担当実験科目の指導、関連する教材や実験プログラムなどの開発
 ・実験教育センター内の委員会および担当科目の科目検討委員会への出席
 ・科学実験教室などの科学教育にかかわる事業活動への参加
 応募資格 着任時において博士の学位を有する方、または同等の研究成果・業績あるいは経験を有する方。専門分野に関する業績がある方。着任時にほかに本務を持たないこと。着任時の年齢が65歳までの方
 着任時期 平成20年4月1日（応募者の事情を勘案し、場合により変更する場合がある）
 提出書類 履歴書（大学独法研等研究教育機関・企業・学会・社会などにおける教育・研究に関する活動歴・業績などを記載）、業績リスト、主要業績別刷（3編、コピー可）、研究・教育概要（研究・教育歴について簡潔に説明、A4用紙1枚以内）、教育計画概要（研究・教育歴の教育への活かし方に関する抱負・計画などについて記載、A4用紙1枚以内）、応募者について照会可能な方2名の氏名と連絡先（所属・住所・電話番号・E-mailアドレス） *書類はすべて3部ずつ提出すること（コピー可）
 応募締切 平成19年9月28日（必着）
 送付先 〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 早稲田大学理工学術院長室 採用係
 「理工学術院客員教員応募書類在中（電気電子情報分野）」と朱書し簡易書留 *応募書類は返却しません
 照会先 理工センター技術部 E-mail:denkisenko@list.waseda.jp Tel(03)5286-3044（神戸宛）
 その他 【任期】平成21年3月31日（再任後は1年更新で4年を限度とする）
 【選考方法】書類審査（一次選考）、面接（二次選考：平成19年10月27日（予定））
 該当者には書類審査（一次選考）後にお知らせします。なお、適任者がいない場合は採用を見送ることがあります
 選考結果は、平成19年11月末を目処に、個人宛に連絡します
 Webページ (<http://www.sci.waseda.ac.jp/>)

■北海道大学大学院情報科学研究科

募集人員 教授 1名
 専門分野 複雑系工学（調和系工学）に関する専門分野：社会性エージェント技術の開発と応用、群ユーザ支援に向けたマルチエージェントシステム理論の応用、そして人とロボットの調和の礎となる屋内外シームレス測位技術の開発およびロボットオーサリング技術の開発など広い専門分野
 応募資格 博士の学位を有し、年齢は45歳以下が望ましい
 着任時期 平成20年1月1日（予定）
 提出書類 履歴書（本籍または国籍、現住所、連絡先（電話番号、E-mail宛先）、学歴（高校卒業以降）、職歴、学位、賞罰、日付、自筆署名押印）、業績リスト（査読付き論文、国際学会講演論文、著書、総説、受賞歴、特許、研究成果の産業応用実績、地域社会貢献実績、国内外学会貢献実績に区分して記載）、現在までの研究歴と研究業績の概要（2000字以内）、主要論文別刷（5編、コピー可）、将来の教育と研究に対する展望と抱負（1000字以内）、今後の大学のあり方に関する所見（1000字以内）、応募者について意見を伺える方2名（氏名、身分、所属、メールアドレス、電話番号、Fax番号） *すべて正本1部、副本3部を提出してください
 応募締切 平成19年10月15日（必着：期限厳守）
 送付先 〒060-0814 北海道札幌市北区北14条西9 北海道大学工学研究科情報科学研究科工学部総務課人事第二係 Tel(011)706-6514
 「複雑系工学講座教員公募応募書類No.19-14」と朱書し書留 *応募書類は返却いたしません
 照会先 複合情報学専攻長 古川正志 E-mail:mack@complex.eng.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6443
 その他 詳細はWebページ (<http://www.ist.hokudai.ac.jp/info/>)を参照ください

■大阪工業大学情報科学部情報システム学科（専門教育）

- 募集人員 准教授または講師 1名
 専門分野 計算機工学（計算機アーキテクチャ、計算方式）、ソフトウェア設計・開発技術（ソフトウェアエンジニアリング）
 担当科目 次の(A)(B)の条件を満たすこと (A)学部教育では「計算機アーキテクチャII」、「人工知能」、「情報技術者論」および関連演習科目、情報科学の卒業研究を担当できること (B)大学院では「計算機工学領域」関係科目の講義および研究指導を担当できることが望ましい
- 応募資格 年齢40歳程度までの博士の学位を有する方
 着任時期 平成20年4月1日
 提出書類 履歴書（本学所定用紙）、業績リスト（本学所定様式）、著書・主要論文（3点以内、コピー可）、論述（1000字以内、A4用紙1枚、様式任意、テーマは以下を参照）、健康診断書（本学所定の様式または診断項目を充足している国公立病院、保健所など発行のもの）
 * 論述テーマ（次のうちいずれか1つを選択）：「教育を充実させるために実践してきた具体的事項」「就任後の教育に対する抱負」
 用紙および様式は、大学のWebページ（<http://www.oit.ac.jp/>）からダウンロードしてください
- 応募締切 平成19年10月20日（必着）
 送付先 〒573-0196 大阪府枚方市北山1-79-1 大阪工業大学 情報科学部長
 「IS教員公募関係」と朱書き郵送の場合は簡易書留
 照会先 情報科学部事務室 E-mail:jyo-jimu@ofc.oit.ac.jp Tel(072)866-5301 Fax(072)866-8302

■愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻情報システム工学講座

- 募集人員 助教（任期5年、原則3年の再任あり）1名
 専門分野 分散処理、並列処理およびその関連分野（ネットワーク、情報通信など）
 担当科目 情報システム工学分野の講義、実習、実験など
 応募資格 博士またはPh.Dの学位を有するか、平成20年3月31日までに取得見込みの方。専門分野において優れた研究業績を有し、教育、研究と組織の運営に熱意を持ち、情報工学コースの教育用計算機システムの管理を担当できる方。満35歳程度以下の方
 着任時期 平成20年4月1日
 提出書類 履歴書（市販のものに準じる、連絡先にE-mailアドレスを記入）、業績リスト（学位論文、著書、査読付き学術雑誌論文、査読付き国際会議論文、その他の論文、解説、総説、特許、学会賞などの受賞、科学研究費などの研究助成の取得状況、教育業績、学会および社会における活動などに区分）、主要論文別刷（3編以内、コピー可）、これまでの研究概要と今後の研究計画、抱負（1500字程度）、これまでの教育経験と教育面での抱負（1000字程度）、応募者について所見を求め得る方3名の氏名・役職・連絡先、そのうち1名の推薦書 * 提出書類の書式に関する参考資料を下記E-mailアドレス宛にご請求ください
- 応募締切 平成19年10月31日
 送付先/照会先 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻 情報工学コース長 小林真也
 E-mail:kob@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-8540 Fax(089)927-9973 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 * 応募書類は返却いたしません
- その他 書類審査の後、面接を行います。なお、面接の際の旅費などの支給はありません
 愛媛大学教員公募Webページ（<http://www.ehime-u.ac.jp/ippan/kobo/index.html>）

■九州大学大学院システム情報科学研究院

- 募集人員 教授 1名
 所属 情報理学科門発見科学講座
 応募資格 博士の学位を有する方。機械学習・機械発見・データマイニング・発見科学（計算科学との境界領域も含む）・メディア科学の分野において卓越した研究業績を有する方。計算機科学分野の教育（全学教育、学部教育、大学院教育）を幅広く担当できる方。システム情報科学府の講義を担当できる方
 着任時期 平成20年4月1日以降
 提出書類 履歴書（学歴は高校卒業から記載のこと）、業績リスト（研究業績（著書、学術論文、特許）、教育実績、大学などにおいては外部資金の獲得状況、企業などにおいてはプロジェクトなどの実施状況、学会および社会における活動など（所属学会名、学会活動、受賞、社会活動など）、主要学術論文別刷（5編程度、コピー可）、最近10年以内の研究開発活動の概略（自分の果たした役割を明示してください）、着任後の教育研究への抱負（2000字程度）、応募者について意見を伺うことができる方2名の氏名・所属・連絡先、推薦書（前記の方によるものである必要はない）
- 応募締切 平成19年10月31日（必着）
 送付先/照会先 〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744 九州大学大学院システム情報科学研究院情報理学科門 鈴木英之進
 E-mail:profship07@i.kyushu-u.ac.jp Tel(092)802-3780 「教員応募書類在中」と朱書き書留
 * 提出書類は返却いたしません
- その他 面接をさせていただく可能性があります
 情報理学科門Webページ（<http://www.i.kyushu-u.ac.jp/>）

■国立大学法人電気通信大学大学院情報システム学研究科

募集人員 准教授 1名
 所 属 情報ネットワークシステム学専攻ネットワークアーキテクチャ学講座
 専門分野 ネットワークアーキテクチャや通信プロトコルなどネットワーク技術一般
 応募資格 博士の学位を有し、着任時の年齢が40歳未満である方
 着任時期 平成20年4月1日(予定)
 提出書類 履歴書(学歴、職歴、学会活動、受賞歴などを含むこと)、研究業績リスト(著書、学術論文誌論文、国際学会論文、研究会報告などに分類)、自分で最も誇れると考える研究論文の概要、専門分野に関連する主要な著書・学術論文別刷(コピー可)、研究概要および研究計画書(2000字程度、上記の専門分野との関連を明示のこと)、研究・教育に関する理念・抱負など(1000字程度)、参考となる意見を伺える2名の方の氏名と連絡先
 応募締切 平成19年10月31日(必着)
 送 付 先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 国立大学法人電気通信大学大学院情報システム学研究科 事務室
 「ネットワークアーキテクチャ学講座准教授応募書類在中」と朱書き書留
 照 会 先 情報ネットワークシステム学専攻ネットワークアーキテクチャ学講座 教授 加藤聰彦
 E-mail:kato@is.uec.ac.jp Tel(042)443-5631
 そ の 他 詳細はWebページ(<http://www.is.uec.ac.jp/event/kobo/ns-0707.pdf>)を参照ください

■電気通信大学電気通信学部人間コミュニケーション学科

募集人員 助教 1名(任期付き)
 専門分野 ネットワーク応用(インターネットを運用したサービス、アミューズメント、コンテンツ流通など)またはユビキタス(パーソナル・ワイヤレスネットワーク、ヒューマンインタフェース機器など)
 応募資格 博士の学位(着任までに取得見込み可)を有し、30歳代前半までであることが望ましい。上記分野の研究実績とネットワーク運用・管理能力のある方
 着任時期 平成20年1月1日以降のなるべく早い時期
 応募締切 平成19年10月31日(必着)
 照 会 先 人間コミュニケーション学科 学科長 吉浦 裕 E-mail:yoshiura@hc.uec.ac.jp Tel(042)443-5517
 そ の 他 詳細はWebページ(<http://www.hc.uec.ac.jp/hc/koubo/index.html>)を参照ください

■東京工科大学コンピュータサイエンス学部

募集人員 教授、准教授、または講師 3~5名(下記、(a)(b)(c)を各1~2名程度)
 専門分野 (a)ゲームコンテンツ、ゲームアプリケーション(映像ゲーム、3Dなど) (b)インターネットサービス(サービスマネジメント、Webコンテンツ、など) (c)ソフトウェアエンジニアリング、システムソフトウェア
 担当科目 (a)ゲームコンテンツ関連科目 (b)サービス工学関連科目 (c)基本ソフトウェア、ソフトウェアエンジニアリング関連科目
 応募資格 教育経験が豊かな方あるいは教育への取り組みに意欲のある方で、大学院での講義・研究指導が行える方。年齢はおおむね35~50歳。さらに次の条件を備えていること。(a)当該分野のコンテンツ作成経験があること (b)・(c)博士の学位を有すること
 着任時期 平成20年4月1日
 提出書類 教員候補者推薦書、履歴書(所定様式)、業績リスト(所定様式)、主要論文・業績を示すもの(任意様式、論文のコピーでも可)、本学での教育の抱負および研究計画(任意様式、それぞれA4用紙2枚程度)
 応募締切 平成19年10月31日
 送付先/照会先 〒192-0982 東京都八王子市片倉町1401-1 東京工科大学大学事務局業務課 牧原 卓
 E-mail:gyoumu@so.teu.ac.jp Tel(042)637-2111(ext.2022)
 そ の 他 詳細および所定様式はWebページ(<http://www.teu.ac.jp/advertise/index.html>)を参照ください

■(株)豊田中央研究所

募集人員 (1)正社員、客員研究員 各1名 (2)客員研究員 1名
 職務内容 (1)自動車のセンシング、環境認識に関する研究開発 (2)視覚情報処理に関する研究
 応募資格 (1)センサ、信号処理、画像処理などの経験を有する修士以上の方
 (2)神経回路系の知識を有する修士以上の方
 着任時期 できるだけ早期を希望(相談に応じます)
 提出書類 履歴書、職務歴(研究実績)、論文リスト、主要論文別刷(コピー可) *応募職種・職務内容を明記してください
 応募締切 平成19年10月31日(順次選考)
 送付先/照会先 〒480-1192 愛知県愛知郡長久手町大字長湫字横道41-1 (株)豊田中央研究所 採用担当 羽田、高野、宮崎
 E-mail:saiyo@mosk.tytlabs.co.jp Tel(0561)63-6509 Fax(0561)63-5744
 そ の 他 Webページ(<http://www.tytlabs.co.jp/>)

■福井大学

募集人員 准教授または講師 1名
 所 属 大学院工学研究科情報・メディア工学専攻，兼務工学部情報・メディア工学科計算機・通信講座
 専門分野 コンピュータネットワーク技術(有線)，ミドルウェア技術，プログラミング言語・言語処理系技術，並列分散処理技術
 担当科目 コンピュータ通信基礎ほか
 応募資格 博士の学位を有し，上記専門分野において研究業績がある方。博士課程の研究指導または授業を担当できる方。教育・研究に熱心な方(最終候補となられた方には，弊学において，模擬授業を実施していただき，採用の評価に加えていただきます)
 着任時期 平成20年4月1日以降のなるべく早い時期
 提出書類 履歴書(着任可能時期と連絡先を記載)，研究業績リスト(査読の有無別に，学術雑誌論文，国際会議論文，その他論文，ならびに取得済み特許などにカテゴリ分類し，著者名，題名，論文誌名，巻・号・頁，発行年などを記載)，主要論文別刷(准教授応募の場合8編，講師応募の場合5編)，これまでの研究の概要，今後の研究計画および教育に関する抱負，応募者に関し意見を伺える方の氏名・所属・役職・連絡先(住所，電話番号，E-mailアドレス)
 応募締切 平成19年10月31日(適任者があれば，締切日より早く選考を開始することがあり，できるだけ早く応募してください)
 送付先/照会先 〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 福井大学大学院工学研究科 情報・メディア工学専攻長・学科長 高橋謙三
 E-mail:kt@u-fukui.ac.jp, kenzo@star.ocn.ne.jp Tel(0776)27-9709 Fax(0776)27-8751
 「情報・メディア工学専攻教員 人事公募」と朱書き書留

■徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部情報ソリューション部門

募集人員 准教授または講師 1名(常勤)
 所 属 感性情報処理大講座
 (併任)先端技術科学教育部知能情報システム工学コース基礎情報工学講座
 (併任)工学部知能情報子工学科基礎情報工学講座
 専門分野 音声・画像処理，自然言語処理，感性情報処理，知能メディアなど
 担当科目 電気回路および演習，システム設計および実験，集積回路工学など
 応募資格 博士またはPh.D.の学位を有し，上記専門分野に従事または興味を持ち，大学院生および留学生を指導できる新しい問題に積極的にチャレンジする意欲的な研究者
 着任時期 平成20年1月1日，またはそれ以降の早い時期
 提出書類 履歴書，教員資格申請調書(学術論文，国際会議発表論文，国内学会発表，著書，解説，特許などに分けて記載)，教育に関する抱負(A4用紙1枚以内)，研究に関する抱負(A4用紙1枚以内)，主要学術論文別刷(5編以内，コピー可)，応募者について所見をいただける2名以上(海外から1名が望ましい)の方の推薦書または氏名と連絡先
 *「教員資格申請調書」様式と記入案内は下記Webページからダウンロードできます
<http://www.is.tokushima-u.ac.jp/html/news/chosyo.doc>，<http://www.is.tokushima-u.ac.jp/html/news/chosyo-ex.doc>
 応募締切 平成19年11月15日(必着)
 送付先/照会先 〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部知能情報工学科 教授 任 福継(学科長)
 E-mail:ren@is.tokushima-u.ac.jp Tel(088)656-9684 Fax(088)656-6575 「准教授応募書類在中」と朱書き簡易書留
 *原則として提出書類は返却しません
 そ の 他 【選考方法】一次選考：書類審査，二次選考：面接
 相応しい候補がいれば，応募期限前に選考を開始することがあります
 提出書類の個人情報については，教員選考の目的以外には使用しません
 詳細はWebページ(<http://www.e.tokushima-u.ac.jp/Koubo/index.html>)を参照ください

■東京理科大学工学部第一部電気工学科

募集人員 嘱託助教 2名(任期：5年)
 専門分野 通信・情報系(通信・情報を専門とし，電気工学実験，コンピュータ実習などが担当できる方)
 担当科目 電気工学実験，コンピュータ実習など(予定)
 応募資格 博士号取得者または平成20年3月までに取得見込みの方(着任時に学位を取得していること)で，30歳以下の方
 着任時期 平成20年4月1日
 提出書類 履歴書，研究業績リスト(論文，著書，学会発表など)，主要論文別刷(コピー可)，現在までの研究概要(1000字程度)，志望動機および抱負(1000字程度)，推薦書
 応募締切 平成19年11月16日(必着)
 送付先/照会先 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-14-6 東京理科大学工学部第一部電気工学科 内田直之
 E-mail:uchida@ee.kagu.tus.ac.jp Tel(03)3260-4271(ext.6568) Fax(03)5213-0976
 「応募書類在中」と明記し簡易書留 *提出書類は返却いたしません
 そ の 他 提出(応募)書類掲載の個人情報は，本件以外の目的で使用することはありません

■電気通信大学大学院情報システム学研究科社会知能情報学専攻

募集人員	准教授 1名
所 属	システム設計基礎学講座
専門分野	システム設計基礎学、ソフトウェア工学、ソフトウェア科学、人工知能と知識処理などの分野における先端技術を応用した新しいシステム設計開発の研究・教育
応募資格	博士の学位を有する方。着任時年齢が40歳未満であることが望ましい。モデル駆動型アーキテクチャ、サービス指向アーキテクチャ、形式的仕様記述法、モデル検査、セマンティックWeb、オントロジー、エージェント、Webマイニングなどを応用したシステム設計開発アプローチの開拓および学生教育に意欲のある方
着任時期	平成20年4月1日(予定)
提出書類	履歴書(学歴、職歴、学会活動、受賞歴などを含むこと)、研究業績リスト(著書、学術論文誌論文、国際学会論文、研究会報告などに分類)、ご自身で最も誇れると考える研究論文の概要、専門分野に関連する主要な著書・学術論文別刷(計5編程度、コピー可)、研究概要および研究計画(2000字程度で、上記の専門分野との関連を明示のこと)、教育に関する理念・抱負など(1000字程度)、参考となる意見を伺える2名の方の氏名と連絡先
応募締切	平成19年11月30日(必着)
送 付 先	〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 国立大学法人電気通信大学大学院情報システム学研究科 事務室 「システム設計基礎学講座准教授応募書類在中」と朱書き書留 *応募書類は原則として返却いたしません。ただし、著書については、あらかじめお申し出いただいた場合は返却いたします
照 会 先	社会知能情報学専攻システム設計基礎学講座 教授 大須賀昭彦 E-mail:ohsuga@is.uec.ac.jp Tel(042)443-5605
そ の 他	詳細はWebページ (http://www.is.uec.ac.jp/)を参照ください

大会スローガン



つくばエクスプレスで
秋葉原から45分!!

情報処理学会 第70回全国大会

一般・学生セッション、デモセッション 講演募集案内

<http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/70kai>

【会期】2008年3月13日(木)～15日(土)

【会場】筑波大学 筑波キャンパス (茨城県つくば市天王台1-1-1)

有
料
会
告

情報処理学会では、第70回全国大会の一般・学生セッション、デモセッションの講演申込受付を以下のとおり行います。
毎回1,000件を超える発表申込を頂き活発な議論、意見交換、交流が行われております。皆様の研究成果発表の場として、是非とも奮って御申込下さい。



HAL-5



超並列クラスター PACS-CS



HRP-2, HRP-3, HRP-3P © AIST

会場となる筑波大学は、学内はもちろんのこと、産業技術総合研究所や他の国立研究機関に近く、こうした様々な施設を見学することも可能です。

【募集分野】

以下の分野で募集を行います。

詳しくは第70回全国大会ホームページをご覧ください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. アーキテクチャ | 2. ソフトウェア科学・工学 |
| 3. データベースとメディア | 4. 人工知能と認知科学 |
| 5. ネットワーク | 6. セキュリティ |
| 7. インタフェース | 8. コンピュータと人間社会 |

【講演募集内容と使用言語】

- 全国大会にふさわしい内容を備えたものとする。
(情報技術の学術・技術の振興に寄与する研究成果の発表)
- 発表は日本語または英語とします。

【講演申込資格】

申込種別	資格
一般セッション	不問
学生セッション	高専・大学学部・ 修士(博士前期課程)在学者
デモセッション	不問

【講演時間(質疑応答含む)、論文頁数】

講演申込種別	講演時間	原稿頁
一般セッション	20分	2頁
学生セッション	15分	2頁
デモセッション	1-3日(1日単位)	2頁(提出任意)

【講演申込・原稿投稿日程】

講演申込・原稿投稿受付開始:平成19年9月14日(金)
講演申込・修正・取消 締切日:平成19年11月22日(木)
原稿投稿・差換え締切日:平成20年1月15日(火)

【講演申込・原稿投稿方法】

講演申込、原稿投稿は、標記の第70回全国大会ホームページからお願い致します。

【講演申込にあたっての注意事項】

- *講演申込締切後の申込情報変更は、一切受けません。
- *講演の代理(代読)は原則として認めません。
- *講演キャンセルの連絡は、必ず電子メールにて次のアドレスまでお願い致します。[ipsj@gakkai-web.net]
- *講演申込登録締切後に講演をキャンセルされましても、講演参加費および論文集代(希望者のみ)はお支払い頂くこととなりますのでご注意ください。

【講演参加費・講演論文集代(税込)】

申込種別	会員種別	費用(税込み)
一般セッション	正会員	10,000円
学生セッション	学生会員	6,000円
デモセッション	一般非会員	25,000円
	学生非会員	15,000円
講演論文集(希望者のみ)	全種別	3,000円

- *会員とは、講演者が本会の会員番号をお持ちの個人会員の方です。但し本会に入会申請中の方も会員費用で申込みます。
- *本会に入会申請中の方は11月22日(木)までに入会手続きおよび入金会費・会費の納入を完了してください。
- *電子情報通信、電気、映像情報メディア、照明の会員番号をお持ちの個人会員の方は会員費用で申込みます。
- *講演参加費には、講演料、本人論文の別刷50部、全論文収録のCD-ROM、大会参加費が含まれます。
- *講演者の方には、ご自身の論文が掲載されている講演論文集1部に限り、講演申込同時予約販売をいたします。ご希望の方は、講演申込書またはデモセッション申込書の講演論文集欄を「希望する」にチェックしてください。
- *デモセッションは上記講演参加費で1日デモを行います。従って2日デモを行う場合には2倍、3日ならば3倍の講演参加費が必要となります。
- *一般または学生セッションでの講演とデモセッションを行う場合には、一般または学生セッションの講演参加費とデモセッションの講演参加費それぞれが必要となります。

【表彰について】

全国大会では、発表された論文の中から優秀な論文、発表に対して以下の賞を贈呈いたします。なお、大会優秀賞、大会奨励賞については、当会の個人会員に限りま。

賞の種類	受賞者
大会優秀賞	全国大会で発表された方のうち、特に優秀な論文の登壇発表者10名前後。
大会奨励賞	学部在学から卒業後10年までの新進の科学者または技術者の論文の登壇発表者10名前後。
学生奨励賞	各学生セッションで発表された中から、優秀な発表と判断された1名に対して大会のローカルアワードとして授与(該当なしの場合もあり)。

【講演機器】

講演機器は、プロジェクターになります。接続ケーブルは、D-sub15ピンです。プロジェクターの解像度は、XGA(1024×768)対応となっております。
ノートPCは、準備しておりませんので各自で必ずご持参願います。

【大会最新情報の掲載】

講演申込に関する詳細、大会で開催予定の招待講演、特別セッション等イベント企画の詳細等第70回全国大会に関する最新情報は大会ホームページへ逐一掲載してまいりますので御確認下さい。

秋葉原コンベンションホール(ダイビル)にて、学術的情報大規模プロジェクトの紹介を中心としたサテライトイベントを全国大会に先駆けて3月12日より行います。



(問合せ先) 社団法人情報処理学会 事業部門 Tel: 03-3518-8373 Fax: 03-3518-8375 e-mail: jigyo@ipsj.or.jp http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/70kai/

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
 * A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
 [募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
 * なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 (社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

会誌「情報処理」49巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

- 応募条件
- ・表紙のデザイン（裏表紙，背表紙は含まず）。
 - ・A4判（天地 297mm × 左右 210mm）4色フルカラー。
 - ・描画手法は問いません。
 - ・「情報処理」の題字，巻号，法定文字，記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
 - ・応募資格は問いません。
 - ・詳細は会誌編集部門までお問い合わせください。

- 注意事項
- ・応募作品は返却いたしません。
 - ・採用作品の掲載にあたって，学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
 - ・採用作品の著作権（著作権法第27条，第28条の権利を含む）は（社）情報処理学会に帰属します。
 - ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について，第三者との間に紛争が生じた場合は，作者がその責を負う）。
 - ・応募される場合は，上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 平成19年11月1日（木）（必着）

結果通知 平成19年12月下旬

賞金 採用者1名に5万円

送付先／照会先 （社）情報処理学会 会誌編集部門
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

会 員 各 位

過去に発行された当会会員名簿は「会員相互間の連絡や情報交換」を目的としています。

最近この目的をはずれ、「広告，諸勧誘，商取引等の営利活動に不正に利用される」方がおられますが，このような行為は厳重に謹んでください。名簿を廃却される場合にも，再利用されることのないようご注意ください。

また，上記不正利用にあてはまらない場合でも，受け取った相手が不愉快な思いをされないよう，節度を持った利用をお願いいたします。

当会では，現在会員名簿を発行しておりません。

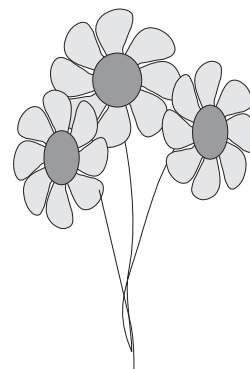
おひらき

先日、お世話になっている業者さんが突然訪ねて来られました。ご記憶の方もいらっしゃると思いますが、昨年、国際情報オリンピック日本代表メダル獲得の健闘をたたえ、建物に幕をかけ、当会でもお祝いさせていただきました。その幕の手配をお願いした業者の営業さんが、ご親切に今年の設置のリメイクに来てくれたのでした。昨年のお祝い幕は、あいにくの台風で、撤去予定日を待たず、暴風雨の夜、営業さん呼び急遽取り外してもらいました。

私の所属している管理部門では、こうしたお世話もさせていただいております。昨年のこの幕のように、予期せぬお祝事の手配は嬉しいものです。私の仕事の性質上、直接会員の皆様とお目にかかることはございませんが、このような業務を通し皆様のお役に立てるよう、日々奔走しております。

さて、今年はどうなお祝いメッセージで幕を手配できるのかとても楽しみです。

(新田美子/管理部門)



■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事業/国際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム, 国際会議, IFIP 委員会
■ 管理部門			
総務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

ご意見をお寄せください！

【10月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4809.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

1. ご氏名
 2. ご所属 Tel. () -
 3. E-mail:
 4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
 5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
 6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
 7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 7-
 8. あなたはモニタですか? : (a) はい (b) いいえ 8-
 9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
 10. 今月号 (2007年9月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a…大変参考になった b…よい c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 特集：利用者の好みをとらえ活かす
- 1.1) 嗜好抽出と情報推薦技術 10-1-
 - 1.2) 協調フィルタリングの課題：プライバシー、サクラ攻撃、評価値のゆらぎ 10-2-
 - 2.1) 協調フィルタリングを用いたレコメンドサービスの導入事例と課題 10-3-
 - 2.2) 嗜好情報に基づくニュースコンテンツの推薦とその応用 10-4-
 - 3.1) AV 機器利用者に対する放送コンテンツの推薦 10-5-
 - 3.2) 移動端末におけるユーザの状況を考慮した嗜好抽出技術 10-6-
 - 4.1) テキスト評価分析の技術とその応用 10-7-
 - 4.2) テキストを用いた評判と嗜好の分析 10-8-
- 安全・安定に寄与する鉄道情報処理技術 (後編) 10-9-
- 女性社員の活躍に向けた IT 企業の試み 10-10-
- 仮想マシン道しるべ：VM (Virtual Machine：仮想マシン) の発展 10-11-
- グリッドと SOA からみる Web サービス標準技術：SOA の新しい標準技術としての SCA の登場 10-12-
- これからの情報処理学会：バランスのとれた楕円構造を目指して 10-13-
- これからの情報処理学会：そこに情報処理学会 10-14-
- 標準化よもやま話：JTC 1/SC 7 のソフトウェア (品質) 工学標準化とともに 30 余年 10-15-
- 研究会千夜一夜：音楽情報処理の研究を始めませんか? 10-16-
- 研究会千夜一夜：言葉とコミュニケーションの科学技術をささえる 10-17-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
 12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

本号の特集では、実際に嗜好抽出や情報推薦の研究をされている研究者に執筆いただいたので、推薦に対して肯定的な記事が多くなった。ここであえて、(株)ホットリンクが行ったアンケートの結果(2005年4月)について紹介したい。「サイトで推薦を受けたとき、どのように感じるか?」→「普通のこととを感じる:85%」。「推薦の結果、商品を購入したことがあるか?」→「購入したことはない:51%」。「どういう薦め方をされると、思わず購入してしまうか?」→「価格が安かったとき:71%」、「自分にぴったりの品物が薦められたとき:62%」。

さて、この数字を見てあなたは、高度な機械学習アルゴリズム

を導入しようと思うだろうか? 受け止め方は人それぞれであろう。この数字は肯定的に捉えることもできるし、否定的に捉えることもできる。ちなみに筆者が感じたのは、嗜好の抽出や、推薦アイテムの予測も重要ではあるが、最終段階の「お薦めする」フェーズがかなりの影響力を持ちそうだとということである。本特集では、基礎理論から、実際の適用事例、そしてユーザが作成したコンテンツからの嗜好抽出まで扱った、それぞれの記事が、上記のような現実面に直面する読者の皆様にとって、少しでも役に立てばと願ってやまない。

(土方嘉徳/本特集ゲストエディタ)

次号(10月号)予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」次世代統合シミュレーション技術

粒子法によるマルチフィジックスシミュレータ/医療・創薬のためのマルチスケール・マルチフィジックス心臓シミュレータの開発/数値/数式ハイブリッド計算に基づくロバスト最適化プラットフォーム—ものづくりを支える新しいシミュレーション技術を目指して—/精度保証付き数値線形シミュレーション/放射線治療の高度化のための超並列シミュレーションシステムの開発/システムバイオロジーのためのモデリング・シミュレーション環境

「小特集」ブロードバンド時代に臨む MPEG 標準化動向とコンテンツ管理技術

コンテンツ利用の進化と MPEG 標準化/MPEG-21, MPEG-A の概要とその目的—マルチメディアフレームワークとアプリケーションフォーマット/権利・許諾記述の標準化—MPEG-21 権利記述言語—/許諾コード方式—利用許諾符号フレームワークとその体系—/光ディスク著作権保護標準化から見た MPEG-21

連載 仮想マシン道しるべ/これからの情報処理学会

コラム 研究会千夜一夜/標準化よもやま話

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集中!!

今一番新しい研究分野は何か?

IT時代をリードしたい!

そうだ、情報処理学会に入ろう!



申込/照会先 社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先:(中法)学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 社団法人情報処理学会
 発行部数 30,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 (株)精機通信社 (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*左記料金はポジフィルム納入による料金です。
 *版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *断切広告は上記料金の10%増です。ただし、表4は不可。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）(株)精機通信社宛にご請求ください。

■「情報処理」 48巻9号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース…………… 表4 電子情報通信学会…………… 前付最終上
 オーム社…………… 表2対向 培風館…………… 目次前上
 情報通信研究機構…………… 目次前下

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ お名前	_____		
勤務先	_____ 所属部署		
所在地	(〒 _____)		
TEL	(_____)	-	FAX (_____)
ご専門の分野	_____		



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 (株) 精機通信社

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20～50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)



NTTコムウェア
NTTコムウェア (株)



(株) NTT ドコモ



日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)

OKI

沖電気工業 (株)

Panasonic
ideas for life

松下電器産業 (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約100名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375